

地域活性 葬祭ホール9月に新設

～まごころホールおいらせ下田～

当JAグループ子会社の(株)協同サービスは1月25日、おいらせ町の下田支店敷地内で新葬祭ホール建設に伴う安全祈願祭を行いました。宿泊棟を備えた「まごころホールおいらせ下田」は9月上旬に完成予定です。

新施設は平屋建てで敷地総面積3,965.94平方メートル、ホール延べ床面積644.17平方メートルで最大収容人数が150人。大小の収容人数に合わせた会場のセッティングが可能で、宿泊施設2室、安置室1室を併設します。

式典のあいさつで、田高正光取締役社長は「家族葬や少人数での施行など、多様なニーズに対応していきたい」と述べました。



▲ 掘入れをする田高社長



▲ 完成イメージ

地域活性 エコープ商品使って料理教室

～女性部十和田支部～

女性部十和田支部は1月30日、十和田市内でエコープ商品の「旨!だしパック」と「こめ油」「らっきょ酢」を使った料理教室を開きました。参加部員20人が、料理4品をつくり商品の特性を実感しました。

こめ油を製造する築野食品工業の栄養士、大塚尚子さんが講師を務めました。大塚さんは「油臭がない」「少ない油でもカラッと揚がる」「カツオ風味のだしパックはコクがあって少しの調味料ですむ」などと、各商品を紹介。参加部員は、3つの商品を使って1時間ほどで「ネギの炊き込みご飯」「揚げだし豆腐」「野菜サラダ」「ネギの味噌汁」の4品を完成させました。

参加者の一人は「原料が国内産だから安心できる。早速、家で作ってみたい」と話しました。



▲ 「ネギの炊き込みご飯」の出来を確認する参加部員

地域活性 テーブルマナー教室で
コース料理を楽しむ

～女性部上北支部フレッシュミズ～

当JA女性部上北支部フレッシュミズは1月31日、三沢市の「North40-40」でテーブルマナー教室を開きました。部員ら7人は、お店の担当者からナイフやフォークの使い方などを教わり、前菜の盛り合わせやビーフシチューなど計5品のコース料理を楽しみました。

参加した小笠原木実さん(45)は「マナーを学ぶことはもちろん、部員らと日頃の悩み相談もできる。参加してよかった」と笑顔をみせていました。



▲ 料理を楽しむフレッシュミズメンバー

生産拡大 **所得増大** 水稻、野菜の検証結果報告
～縄田さん最優秀～

当JAは1月15日、十和田市の本店で「指導員プロジェクト試験報告会」を開きました。指導員12人が主要農産物の水稻、ナガイモ、ニンニクなど7品目について、展示圃で実施した肥料・農薬試験や省力化など、検証結果を発表。「水稻栽培の省力化に向けた提案」をテーマに発表した、切田経済センターの縄田尚伸指導員が最優秀賞を受賞しました。

縄田指導員は、水稻直播栽培での除草効果や生育ステージによる病害虫防除の方法と効果を報告。しっかりと現状の問題や課題を分析し、効果確認して農家に普及できるまで追求した点が高評価を得ました。



▲ 水稻直播栽培の検証結果を報告する最優秀賞受賞の縄田尚伸指導員

以下の結果は次の通り

- ▶ 優秀賞 / 高淵範頭
(三本木事業所営農経済課長補佐)
- ▶ 優良賞 / 古川麻衣子
(深持経済センター)
漆畑圭織(大深内支店営農経済課)

農業の繁栄は、まず記帳から
～農業青色申告部会総会～

当JAの農業青色申告部会は1月27日、本店で令和元年度の通常総会を開きました。令和元年度の事業計画、次年度の収支予算案など全4議案が原案通り承認されました。

総会には十和田税務署や市内の税理士事務所の関係者、会員70人が出席。あいさつで、川上吉喜部会長は「野菜の価格低迷や消費増税等で厳しい農業経営を強いられているが、しっかり記帳し、健全経営につなげていこう」と呼びかけました。

同部会の会員数は前年比6人増の911人、申告件数は所得税1,097件、消費税291件で全員が国税庁の運営するe-Taxを活用しています。



▲ 新年度の事業計画などを確認する出席会員

地域活性 年金のしくみ学ぶ
～管内4カ所(本店、下田、上北、むつ支店)で
セミナー開催～

JAでは、7～1月にかけて年金セミナーを開き、参加者80人が年金の仕組みや請求の手続き方法、年金記録の確認方法などについて説明を受けました。

1月11日、本店で開いたセミナーには、30人が参加。講師を務めた社会労務士の山岸孝行氏は「年金制度を理解し、損をしない受給と老後のマネープラン設計に役立ててほしい」と参加者に呼びかけました。参加者からは、働きながらもらえる在職老齢年金や障害年金、年金に係る税金についての質問がありました。

JAの金融窓口では随時、年金相談に応じています。お気軽にお尋ねください。



▲ 年金のしくみを学ぶ参加者

米「まっしぐら」好評、 ブランド野菜「TOM-VEGE-(トム・ベジ)」をPR



▲当地ブランド野菜をPR



▲好評の当JAオリジナルブランド、
産地直送米「まっしぐら」

～愛知県で青森フェア 1/25・26～

- フェア参加者
三村申吾県知事、青森県農林水産部長 ほか
- 開催店舗
アピタ鳴海店・アピタ東海荒尾店・アピタ港店
- 農水産物及び、加工品の販売
青天の霹靂、まっしぐら、リンゴ、ニンニク、ゴボウ
ホタテ、イカ、牛肉、ねぶた漬け、リンゴジュースなど。



▲三村知事と売り込みに
努めた斗澤常務

愛知県内にあるスーパー「ユニー」の3店舗で1月25、26の両日、青森県主催の「青森フェア」が行われました。あおもり産品の消費拡大に向けた、県知事のトップセールスに当JAも参加し、売り場から買い物客に管内産米「まっしぐら」とブランド野菜「TOM-VEGE (トム・ベジ)」のおいしさをPRしました。

当JAでは昨年5月から同スーパーで、JA十和田おいらせ産地直送米「まっしぐら」の販売を開始。その経緯もあり、同店でのフェアに初参加し、合わせてTOM-VEGEのゴボウ・ニンニク、軟白ネギ「とわだ娘」など、5品目を販売しました。

産地直送米「まっしぐら」は、炊き上がった米粒に弾力があり、すっきりとした食感で冷めてもうまいと消費者の評価も高まっています。通常価格は、3,280円(税別/10キロ)、特売では2,980円(税別)。当初月当りの販売数量で玄米換算100トン(9,000袋/白米10^{kg}換算)を計画。販売開始当初は何回かの試食販売を行い、その後は固定客をつかみつつあり、安定した販売が続いていると報告を受けました。

産地直送米は、令和元年産から本格的な販売を展開し今後、当初の1万俵から年間2万俵に増やして通年販売していく計画です。

報告者／米穀畜産部米穀課長 水尻亨

日程:令和2年1月20日(月)～21日(火)
報告者:指導やさい部長 馬場 義満
同行者:指導やさい部やさい販売課 下田中 永一
全農あおもり名古屋事務所所長
訪問市場:中京・東海地区の4青果市場

『市場動向および今後の販売』

続く野菜価格の低迷 食べ方の提案、販売促進の強化へ

ながいも

県産品の市況はA2L:2,800円、B2L:2,600円、C2L:1,800円台での販売。小売価格単価はカット品100^g48円、特売価格で28～38円、2L1本売り298円と、幾分値下がり傾向となっている。各市場とも太物の販売に苦慮している。

3月以降は本県産も出荷ピークとなる見込み。太物中心の出荷となることを伝えるとともに、消費者に食べて頂く簡単レシピ等の企画提案を要望し、継続した売り場確保と今後の安定した販売を要請した。

ニンニク

現在の市況はA品:1,200～1,000円、B品:1,000～800円、C品:600～500円での販売となっている。小売価格は本県産2Lサイズ1P198～248円、Lサイズ1P198円、Mサイズ1P98円～となっている。単価の低迷によりB品以下を購入していた消費者がA品購入へ変化するなどしたため、B品・C品等下位等級品の販売先が苦戦しているためこれら下位等級品も含め販売を要請した。

ゴボウ

消費者は、ささがき等の加工品を主に購入している。加工業者も正月前から在庫を抱えたままの状況なため、太物を中心に厳しい販売となっているが、当JA産の出荷は3月上旬まで続くことを伝え、継続した売り場の確保と特売企画の提案等による安定した販売を要請した。

所感

昨年11月から続く全国的な野菜全般の安値に加え、暖冬の影響等により鍋物食材の需要の落ち込みや、好天により各産地の作型が前進化したことによる供給過剰等で、野菜全般の販売状況は更に厳しいものとなっている。

販売価格が低迷している時期は、消費宣伝会等による消費の裾野を広げるチャンスととらえ、各市場等と情報交換を重ねながら、有利販売につなげるよう努めて参りたい。



【読者の声にお答えします】 12月中旬、JAに寄せられたお便りで「JA十和田おいらせの主要農産物の10アール当たり販売額や経営状況など」を知りたいと質問がありましたのでお答えします。

主力野菜が軒並み3割安

令和元年度 野菜販売高 平成31年1月～令和元年12月末

	年間取扱高 (千円)	平均単価 (キロ当たり/円)	前年比 (平均単価)(%)	生産者戸数 戸	出荷面積 ha	10 ^a 当たり販売高 (千円)
ナガイモ	1,926,569	255	94.1%	468	28,842	668
ニンニク	1,426,484	948	68.4%	565	21,731	656
ゴボウ	631,557	115	61.6%	273	28,813	219
ニンジン	672,248	91	66.1%	122	17,880	376
ダイコン	1,189,072	75	86.0%	109	25,195	472
長ネギ	618,919	284	79.0%	162	8,117	762
トマト	179,601	320	68.8%	78	928	1,935
ピーマン	36,481	255	69.8%	39	251	1,453
インゲン	37,480	1,093	91.4%	47	287	1,306

※野菜振興会役員会資料より

役員室のつぶやき Vol.60

組合員みなさまに、JA常勤役員を身近かに感じてもらうコーナーです!

「営農指導事業で年間2.6億円」

農協事業の中でも農家組合員の農業所得向上を図るため生産の維持・拡大や地域農業振興を進めているのが営農指導事業である。具体的には、①販売ブランドの産地作り、②生産部会活動の支援、③担い手確保・育成対策、④生産技術指導、⑤農業経営指導、⑥補助事業等の推進など。営農指導員35人(平成30年度・畜産指導員含む)。

この営農指導事業の農協経費が年間2.6億円(平成30年度、29年度は2.9億円)かかっている。農協は行政や補助金の事業団体でないから、こうした営農指導事業の負担金を確保する農協経営に努めなければならない。具体的には、信用事業や共済事業の収益で半分近くを負担し、残りは販売手数料や購買手数料などの経済事業の収益で賄っている。従って、金融事業(信用・共済)における営農指導事業への貢献は大きい。

さらには、この営農指導事業の他に、施設利用高還元、集荷対策、産地拡大対策、畜産の繁殖優良牛導入助成、酪農経営特別支援対策、購買の奨励、各生産部会等の組織活動助成事業など、年間2億円以上を支払っている。合計年間5億円程度となる。

今後も営農指導体制強化としては、更なる①戦略作物に応じた専門営農指導員体制、②地産地消の産地化をすすめる総合営農指導員体制、③農業経営コンサルをすすめる農業経営指導員体制、④担い手育成をすすめる営農相談員体制、⑤出向く営農指導員体制の強化などの取り組みを進めなければならないとともに農協経営も求められる。

代表理事専務 小林 光浩

編集者の日和日記

今年の冬は極端に雪が少ない。全国的な暖冬で、今後の農業への影響を心配する声も多い。

暖冬とは言え、インフルエンザの季節。加えて、中国・武漢で発生した新型コロナウイルスが感染拡大している。高齢者や幼児、受験生がいる家庭では、特に感染予防の自衛策が大事。なるべく人混みを避け、マスクの着用と手洗いうがいの徹底を心がけたい。T

総務部 組合員資格等の確認について

当組定款第14条により、各位において組合員資格等に変更があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。つきましては、下記の組合員資格や氏名・住所・電話番号等に変更があった場合は、各支店へ申し出させていただきますよう、お願い致します。

当農協の組合員資格

●正組合員資格

1. 10㎡以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区内にあるもの
2. 1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
3. 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く)であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

●准組合員資格

1. この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
2. この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けているこの組合に地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
3. この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

理事会だより(第10回:1月24日)

議案

- ▶固定資産取得および収支5ヵ年計画の変更を承認する
- ▶固定資産の取得を承認する
- ▶穀類乾燥調製貯蔵施設新設に係る国庫補助事業申請を承認する
- ▶臨時総代会の開催並びに提出議案を承認する
- ▶役員改選の日程等を承認する
- ▶地区別懇談会の開催を承認する
- ▶令和2年度採用職員の追加募集を承認する ーほか

報告事項

- ▶第3・四半期実績および3月末見込みについて
- ▶担い手パワーアップ・アクション実績報告について
- ▶子会社の第3・四半期実績および3月末見込みについて ーほか

議案第1号

- ▶令和元年度上半期定期監査結果に対する回答について ーほか

監事会だより(第10回) 理事会終了後、本店2階常勤監事室・監査課で実施

子育て支援事業
共済部
チャイルドシート
無料レンタル

「JA十和田おいらせ」では地域貢献活動の一環として、チャイルドシートの無償貸出しを実施しております。地域のみなさまの子育て支援と乳幼児の交通事故の被害軽減に努めます。

ご利用できる方

JA十和田おいらせ管内に居住または勤務されており道路交通法によりチャイルドシートの使用が義務付けられている幼児(6歳未満)の保護者。

レンタル期間

貸出期間は貸出日から6ヵ月以内。使用されるお子様がこども共済に加入している場合は1年延長できます。

返却方法について

レンタル期間の終了日が近づきましたらこちらから返却のご案内をいたします。一週間以内のご返却をお願いします。

申し込み
手続き

最寄りのJA共済窓口にて申込書に必要項目を記入して申込みます。
◎申し込み時に必要なもの…申込者の身分証明書(運転免許証・母子手帳など) チャイルドシートは台数に限りありますので、事前にご確認ください。



お問い合わせ・JA十和田おいらせ 本店 LA(ライフアドバイザー)TEL:0176-23-0317

子会社
通信

JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門の事業を行っています。

(株)協同サービス

主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワーハウスあぐり館)、酒類販売部(酒の藤坂店) 十和田地域広域斎苑指定管理

◎ハーバリウム
アロマディフューザー教室

日時:3月19日(木)10:30~ 材料代1,000円

定員20名まで。3日前までにお申し込みください。会場は、協同サービス まごころホール駒街道です。



お申込み、お問い合わせは協同サービスまで

住所 十和田市西十三番町4-33 TEL:0176-21-1500

(株)エコー

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理 福祉事業、旅行事業 など

◎JA-SS ご利用者感謝キャンペーン開催!

(株)エコー全店舗で開催いたします!

期間:3月12日(木)~17日(火)6日間

ガソリン・軽油2,000円以上給油で、卵(10個入り)1パックプレゼント!

※配達を含みませんので、ご了承下さい。又、景品がなくなり次第終了となります。

三本木SS、大深内SS、藤坂SS、八郷SS、十和田湖SS お問い合わせ (株)エコー
もいしSS、木ノ下SS、上北SS、七戸SS、むつSS TEL:0176-25-1601



米穀
畜産部

1月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種) / 開催日:令和2年1月10日



[当JA管内]		(金額:千円)						[地区別]		(金額:千円)						
種雄牛	販売金額	雌			去勢			地区	販売金額	雌			去勢			
		上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均			頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)
第1花国		8	760	543	14	1,154	814	十和田地区	40	598	286	307	47	736	323	306
美津照重		5	810	613	12	1,068	724	十和田湖地区	8	670	293	302	18	715	305	299
春待白清		5	570	513	6	719	631	むつ地区	7	589	308	315	17	781	324	303
美国桜		4	702	679	5	908	784	青森県全体	173	592	288	305	281	698	315	300
愛之國		3	645	565	4	858	733									
計		25			41											

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

青森県全体については青森県家畜市場データ参照 ※販売金額は税抜価格。
重要なお知らせ

上場牛のワクチン接種形式が変わります。令和2年4月1日より上場する黒毛和種子牛は、「5種混合生ワクチンを2回、牛ヘモウイルスワクチンを2回接種しなければならない。」と変更になります。

3月市場開催日 / 令和2年3月13日(金)